

しんまちこども園

R6.4.6

自己評価の視点	気づいたこと課題
I 教育保育理念・教育保育内容	園の理念、保育目標への理解をより深めると同時に、認定こども園教育・保育要領を熟読し、保育計画に理念と要領を落とし込んでいけるようにしていきたい。 こどもも大人と同様に一人の人間であり、こどもにも権利がある。こどもの権利を尊重した教育・保育ができるように心がけていきたい。
II こどもの発達援助	こどもたちが興味や関心のある活動に、じっくり取り組める環境づくりをもっと取り入れていきたい。 こどもに寄り添った言葉かけを心がけているが、ふとした場面で禁止の言葉をかけないように、時間配分などを考慮し保育者の余裕を作り出すことに努めた。結果、子どもたちと、楽しいを共有し、一緒に活動に取り組むことができた。
III 保護者に対する支援	保護者に対して積極的に会話を行なうことに努め、保護者と一緒にこどもの育ちを共有した。 アプリの導入により【ドキュメンテーション】を用いて、こどもの園での様子を伝えるようにしているが、直接、口頭でのやり取りも大切にしていきたい。 地域の子育て支援の取り組みがまだまだ地域へ浸透していない。主幹保育教諭を中心に積極的に取り組んで行く必要がある。
IV 保育を支える組織的基盤	法人内、園内での研修に力を入れた1年でしたが、他団体主催の研修にも積極的に参加し、園内で報告会を行なうことで、全職員が学ぶ機会を得るように取り組んだ。 これからの学びの上積みを全職員で行ない、基盤を強固なものにしていきたい。